



学 会 通 信

第 90 号

2019 年 5 月 20 日発行

## 目次

2019 年度第 26 回日本教育メディア学会年次大会ご案内【1 次案内】	…2
ICoME2019 のご案内	…6
2019 年度第 1 回研究会のご案内	…8
2018 年度第 2 回研究会報告	…9
論文投稿のご案内	…10
理事会（定例）議事録（抄）	…10
学会費納入のお願い，入会者・退会者	…13

---

## 2019 年度第 26 回日本教育メディア学会年次大会ご案内【1 次案内】

---

2019 年度日本教育メディア学会第 26 回年次大会にあたってのご挨拶

大会実行委員長 林向達（徳島文理大学）

第 26 回日本教育メディア学会年次大会を 2019 年 11 月 2 日（土）と 3 日（日）に徳島文理大学で開催いたします。11 月 4 日（月）は振替休日となりますので、ゆったりとしたご予定で徳島にお越しただければと思います。

徳島県は、四国の東側に位置し、阿波踊りが街中に分散して展開する祭であるのに似て、県内東西南北のあちこちに見どころを擁した土地です。四国八十八ヶ所霊場を巡拝するお遍路もそうですが、時間をかけて初めて味わえる風土というものがあり、昨今の時短社会においてそこが伝わり難いのかもかもしれません。つまりは、何度でも時間を確保してお越しいただき魅力を発見していただく土地ということです。

元号が平成から令和に変わって初めての年次大会となります。教育とメディアにとっての平成を振り返るのに、これほど良い機会はありません。参加者の皆様と歴史にふれながら新たな時代を模索していく場となる年次大会にできればと考えています。大したおもてなしは致せませんが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

### 1. 日時と場所

2019 年 11 月 2 日（土）、3 日（日）

徳島文理大学（徳島キャンパス）〒770-8514 徳島市山城町西浜傍示 180 9 号館 6 階・7 階

アクセス：徳島駅より市バスで 15-20 分程度（文理大学前下車）

### 2. 大会プログラム

11 月 2 日（土）

9:30- 受付

10:00-11:30 企画 1 オープニングトーク 教育メディア研究のこれから

登壇者：小柳和喜雄（奈良教育大学）・池尻良平（東京大学大学院）・勝見慶子（兵庫教育大学大学院）

11:30-12:30 昼食

12:30-13:20 総会

13:30-15:30 一般研究発表（1 件あたり 30 分発表）※質疑と交代を含む

15:45-17:00 企画2 教育メディアにとっての平成時代（仮）

登壇者：浅井和行（京都教育大学）、中川斉史（徳島県東みよし町立足代小学校）、佐藤和紀（常葉大学）

コーディネーター：林向達（徳島文理大学）

18:00-20:00 懇親会（徳島駅前を予定。大学から駅前までバスを用意します）

11月3日（日）

9:30-11:30 課題研究発表

11:30-12:30 昼食

12:30-14:30 一般研究発表（1件あたり30分発表）※質疑と交代を含む

15:00-16:30 企画3 新たなメディアがつくる令和時代の学校・地域・文化

登壇者：宇治橋祐之（放送文化研究所）、葉山敦美（座間市立図書館）、山内雅博（愛媛県西条市立神戸小学校）

コーディネーター：稲垣忠（東北学院大学）

### 3. 課題研究プログラム

課題研究1「教師のセルフスタディ」

コーディネーター：企画委員会

第9期企画委員会では、教育実践の充実度を学会から発信すること、学校教員による実践研究の第一歩として、学会誌「教育メディア研究」とは別に、教育実践による論文報告集をオンラインで発行することを計画している。そこで、本課題研究においては、自らが計画・実践した教育実践研究について報告を募り、論文報告としてまとめる際に必要な情報について、具体的に検討する。本課題研究での発表は、2019年度に発行する報告集の第1号に投稿できる。初等・中等教育機関に所属する教員の発表を優先するが、高等教育機関において、自ら教育実践を計画・実施した方も対象とする。

課題研究2「メディア・リテラシー教育における教育メディアの可能性」

コーディネーター：宇治橋祐之（NHK放送文化研究所）・中橋雄（武蔵大学）

近年、これまでになかったような内容・構成の「学校放送番組」「デジタル教科書・教材」が見受けられるようになった。また、教師や学習者がツールとして活用する「タブレット端末」や「学習支援システム」なども教育の可能性を切り拓くものとして期待され、研究が進められている。このような新しいタイプのコンテンツやツールとしての教育メディアが、メディア・リテラシー教育に対して、どのような意味や可能性をもつのか検討することは、重要な研究課題であるといえる。そこで、こうしたテーマに関する研究を広く募集し、メディア・リテラシー教育における教育メディアの可能性について、ともに考える場を設けることとした。

課題研究3「情報活用能力の育成とメディアの活用」

コーディネーター：中川一史（放送大学）・稲垣忠（東北学院大学）

新学習指導要領において学習の基盤となる資質・能力の1つとされた情報活用能力は、コンピュータ等の情報手段の基本的な操作、探究や問題解決プロセスにおける情報活用、プログラミング、情報モラル・情報セキュリティを含む複合的な能力である。教科等横断的な視点から教育課程を編成し、その育成を系統的に行うための手法は十分に確立されていない。そこで本課題研究では、情報活用能力の育成に役立つメディアやツールの活用、モデルとなるカリキュラムや体系表の開発、教育課程の運用等、情報活用能力の育成とそれに資するメディアの活用について、幅広い視点から議論したいと考えている。

#### 課題研究4「探究におけるメディア活用」

コーディネーター：岸磨貴子（明治大学）・三宅貴久子（東京学芸大学）

教育現場では「探究」を軸とした学習が注目されている。探究学習とは、児童・生徒・学生（以下、総じて“生徒”）の主体的・創造的な学習であり、定式化することが困難な学習活動である。故に教師は、様々なメディアを活用し、学習環境をデザインする。しかし、メディアは一つの道具であって、活用するだけで生徒が探究するわけではない。探究過程において、生徒自らがメディアをどのように意味付けし、自らの探究の道具として活用しているかに注目する必要がある。そこで本課題研究では、探究学習におけるメディア活用に着目しつつ、教師と生徒、生徒同士の相互行為、探究活動における教師の即興的な対応、学習環境のデザインについて幅広く議論をしたい。

#### 4. 大会までのスケジュール

##### 【課題研究について】

- ・プロポーザル（要旨）の締切：2019年7月31日(水)
  - ・課題研究の発表予稿集（本文）原稿提出締切：2019年9月30日(月)
- （要旨および本文の提出先：taikai2019@jaems.jp）

##### 【一般研究について】

- ・一般研究発表の申し込み・原稿提出期限：2019年8月19日(月)～9月30日(月)
  - ・下記5の参加申し込みの後、メールにて発表原稿を添付して提出頂きます。
  - ・英文での提出も受け付けています（上限10件程度）。英文の場合、発表も英語で行います。
- （提出先：taikai2019@jaems.jp）

#### 5. 参加申し込み

- ・参加申し込みは学会年次大会 Web サイトよりお申し込みください（9/30まで）

<http://jaems.jp/conference/>

- ・参加費は、昨年通り、以下の通りとします。

会員 3000円（事前）、4000円（当日）

学生会員 1000円（事前）、2000円（当日）

非会員 4000円（事前）、5000円（当日） ※ただし、非会員の現職教員は無料

学生非会員 2000円（事前）、3000円（当日）

懇親会 5000円（学生3000円）

・事前支払いは2019年9月30日(月)までです。Webからの参加申し込みの前にお振り込みください。  
なお、懇親会会場の準備の都合上、事前の参加申し込みと入金をお願いします。  
※本大会においては、非会員の現職教員の場合、参加を無料と致します。できるだけ多くの参加者にご  
参集いただき、学会の認知や入会を促す意図がありますので、ご了承願います。

<事前参加申し込みに関わる送金先>

.....

銀行名：みずほ銀行  
店名：本郷支店  
種目：普通  
口座番号：2656908  
名義：林向達（リン コウタツ）

.....

※振込手数料は、ご負担ください。  
※ご自身の口座以外から振り込む場合は、振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。それが出来ない場合は振込後、jaems.taikai2019@gmail.com にメールでご連絡ください。  
大学事務局を通じた大学名による振込は、どなたの会費か判断できないため避けていただくようお願いいたします。  
・発表者は、参加費とは別に年会費を納めている必要があります。年会費に関する規定は、以下をご覧ください。

<http://jaems.jp/about/kitei/kaihi.html>

・参加者のうち学会員は、本年度の会費をできるだけ事前にお支払いください。  
当日お支払いいただくこともできますが、事務局の運営にご協力ください。  
なお、入金口座は、「事前参加申し込みに関わる送金先」と異なり、以下となります。

銀行名：ゆうちょ銀行  
種目：普通  
店番：418  
店名：四一八店（ヨンイチハチ店）  
口座番号：0865850  
名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガッカイ）

6. その他

・前回大会に引き続き本大会において、発表予稿集は刊行せず、会員の皆様に PDF ファイルの形での配布となります。事前にメールにてダウンロード先の URL をお送りします。ご自身の端末等を持参するか、事前に学会の Web からプログラムを印刷してきてください。  
・年次大会に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

第26回年次大会事務局  
徳島文理大学 林（りん）研究室

電話 088-602-8320 メールアドレス [jaems.taikai2019@gmail.com](mailto:jaems.taikai2019@gmail.com)

---

## ICoME2019のご案内

---

研究委員会 国際研究会 ICoME 担当

ICoME (International Conference for Media in Education) 2019 は、今回で第 17 回目の実施となります。日本教育メディア学会 (JAEMS), 韓国教育情報メディア学会 (KAEIM), 中国教育工学会 (CAET), アメリカ TCC (Technology, Colleges and Community) オンラインカンファレンスとの連携によって、2019 年 7 月 23 日から 25 日に中国・深圳市にて開催されます。

ICoME は、国内外からの多くの教育研究者や実践者が集まり、教育メディアや教育技術に関する貴重な研究や実践の発表、共有の場となります。本会が、各国の研究者間で行われる互恵的な意見交換の場となりますよう、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

なお、ICoME に関する情報は随時 JAEMS ウェブサイトおよびメーリングリストにて発信していきますので、それらも併せてご確認くださいませよう願いたします。

日時：2019 年 7 月 23 日 (火) - 25 日 (木)

場所：Shenzhen Kylin Villa, 深圳市, 広東省, 中国

ホスト：Southern University of Science and Technology

International Centre for Higher Education Innovation under the auspices of UNESCO

テーマ：Artificial Intelligence + Education

※教育メディアに関するその他の発表も広く募集しています。

プログラム：

22 日 (月)：Registration

23 日 (火)：Opening Ceremony / Keynote speech/Guest Speech/Concurrent Speech

24 日 (水)：Keynote speech/Guest Speech/Panel Discussion/Round Table

25 日 (木)：Keynote speech/Panel Discussion, Closing Ceremony

ウェブサイト：<http://icome2019.sustech.edu.cn/>

- ・発表の申し込みは、ICoME2019 のウェブサイトより直接お願いします。
- ・原稿テンプレートのダウンロードもウェブサイトよりできます。

学会までのスケジュール【厳守】:

- ・ アブストラクトの提出締切: 2019年5月30日(木)
- ・ 原稿提出締切: 2019年7月10日(水)

※参加予定の方は、先にレジストレーションを済ませてください。

レジストレーションの承認が行われたのち、アブストラクトの提出が可能となりますので、余裕をもって投稿してください。

参加費:

- ・ Student attendees : 400 元(RMB)
- ・ Member attendees : 800 元(RMB)
- ・ Non-member participants : 1200 元(RMB)

※Student attendees は、学会の学生会員のみで、非会員の学生は Non-member participants となります。

※JAEMS 正会員の方は Member attendees を選択してください。

※参加費の支払い方法は現在確認中です。JAEMS のウェブサイトおよびメーリングリストにて随時情報をお知らせいたしますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

宿泊場所:

- ・ 学会より公式の案内はありませんので、ご参加の方は各自でホテルをご予約ください。
- ・ 学生には比較的安価で宿泊できるドミトリーなどを用意いただける予定ですが、ご案内が開催直前になる可能性があることをご留意ください。



---

## 2019 年度第 1 回研究会のご案内

---

テーマ「学校放送番組を活用した実践研究／一般」

研究委員会 国内研究会担当 委員長 堀田博史, 本企画担当 小林祐紀

2020 年度より小学校学習指導要領が全面実施されます。2021 年度には中学校, さらに翌年からは年次進行で高等学校へと段階的に全面実施が広がっていきます。さまざまなキーワードを用いて語られることの多い学習指導要領ですが, それらに対応するように学校放送番組も変わりつつあります。また, タブレット端末をはじめとした教育 ICT の整備・普及は全国各地で進められており, 放送番組の活用方法も多様になってきています。そこで, 学校放送番組の開始から 60 年の節目である 2019 年第 1 回研究会は「学校放送番組を活用した実践研究」をテーマとした発表を募集します。その他, 本学会がテーマとする内容に関する研究についての発表も募集します。

また, 本会の開催は午後ですが, 午前中には同会場にて, 茨城県の教員を中心に実践発表等を行う場を企画しています。午前中からの参加も歓迎します。

日時：2019 年 7 月 6 日（土）13:00–16:00（予定）

場所：茨城大学図書館ライブラリーホール, セミナーホール  
（JR 常磐線「水戸駅」下車 バス約 20 分）

参加費：500 円

発表・参加のお申し込み：学会 Web サイトよりお申し込みください。

本研究会は学会員, 非学会員問わず発表・参加することができます。

発表申し込み締め切り日：2019 年 5 月 31 日（金）

原稿送付締め切り日：2019 年 6 月 16 日（日）締め切り厳守

原稿執筆要綱：原稿は論文集にまとめます。書式は学会論文誌と共通です。

Web サイトからダウンロードして下さい。2019 年度研究会より冊子での配布は致しません。

懇親会のお知らせ：

研究会終了後, 懇親会（参加費約 5,000 円）を予定しております。参加申込より受け付けます。

---

## 2018 年度第 2 回研究会報告

---

研究委員会 国内担当

日本教育メディア学会 2018 年度第 2 回研究会が、テーマ「ICT を活用した授業実践と評価／一般」と題して、2019 年 3 月 9 日土曜日に福井大学（文京キャンパス）で開催されました。午前・午後合わせて、約 80 名の参加のもと、18 件の発表がありました。授業でのタブレット端末の活用効果や小学校プログラミング教育に関する発表が多く見られ、活発な議論がなされました。日本教育工学会 (JSET) 研究会「ICT を用いた学習環境の構築／一般」と並行開催した効果もあってか、研究冊子 70 冊も完売しました。

朝早くから、多くの先生方にお手伝いいただきましたことに、御礼申し上げます。



福井大学文京キャンパス

[https://www.u-fukui.ac.jp/cont\\_about/data/campus/campus\\_bunkyo/](https://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/data/campus/campus_bunkyo/) より引用

---

---

## 論文投稿のご案内

---

編集委員会（委員長／黒上晴夫：関西大学）

『教育メディア研究』（Vol.26, No.2）の特集テーマを「深い学びと教育メディア」とします。締切は2019年8月31日（土）です。

本テーマにかかわらず、一般の投稿も随時受け付けています。

---

---

## 理事会（定例）議事録（抄）

---

第9期 第2回理事会 議事録

〔日 時〕 2019年4月20日（土）13:00-16:00

〔場 所〕 東京（東京大学大学院 情報学環 福武ホール 1F 会議室）、大阪（新大阪丸ビル本館 A506号室）、仙台、金沢の4会場をテレビ会議（Skype）で結び実施

〔出席者〕 会長、理事18名、委任状（会長に一任）6名、監事2名

会長 大阪：小柳和喜雄

理事 大阪：岩崎千晶、影戸誠、岸磨貴子、久保田賢一、黒上晴夫、今野貴之、泰山裕、寺嶋浩介、  
永田智子、林向達

東京：宇治橋祐之、佐藤慎一、中橋雄、長谷川透、山本良太

仙台：稲垣忠

金沢：中川一史

欠席：浅井和行、鄭仁星、後藤康志、鈴木克明、堀田博史、堀田龍也、村上正行、渡辺雄貴

監事：浦野弘、佐々木輝美

事務局：池尻良平

<審議事項>

（1）入会者・退会者・除籍者について（事務局） 【資料1】

副事務局長から、前回理事会以降の入会者・退会者・除籍者について説明があり、審議の結果承認された。

除籍対象者については、今後も事務局から通知を継続することを確認した。

(2) 2018年度事業報告・2019年度事業計画について（事務局） 【資料 2-1, 2-2】

事務局長から、「2018年度事業報告・2019年度事業計画案」が示された。

この後進められる各委員会での審議結果に合わせて修正する旨確認の上、審議の結果承認された。

(3) 2018年度決算報告・2019年度予算案について（事務局） 【資料 3-1, 3-2】

事務局長から、「2018年度決算報告・2019年度予算案」が示され、審議の結果承認された。

また、幹事から監査報告があり、審議の結果承認された。

(4) 編集委員会（国内担当）

編集委員会委員長から特集号の計画について説明があり、メール審議の依頼があり、審議の結果承認された。

(5) 研究委員会（国内担当） 【資料 5】

研究委員会（国内担当）副委員長から国内研究会の年2回の実施の計画と研究会冊子のデータ化について説明があり、審議の結果承認された。データ化に関する諸調整を進めていくこととなった。

(6) 研究委員会（国際担当） 【資料 6-1, 6-2, 6-3】

研究委員会（国際担当）委員長より、実行委員会の立ち上げの計画について報告があり、それに伴う、内規の修正について報告があり、審議の結果、承認された。

(7) 企画委員会【資料 7】

企画委員会委員長より、教師のセルフスタディに関するオンラインジャーナルの発行の計画について報告され、審議の結果承認された。また、その計画に合わせて、企画委員会単独での企画を実施する事業計画を修正し、それに伴い予算計画も修正することとなった。

(8) 広報委員会【資料 8-1, 8-2】

広報委員会副委員長より、学会通信の台割りについて報告があり、審議の結果承認された。

(9) 年次大会委員会【当日配布資料】

年次大会委員会委員長より、準備状況について報告され、シンポジウム・課題研究の計画が提案された。審議の結果、課題研究については4つのテーマについて開催する計画が承認された。大会参加費については、昨年度と同様にする旨が確認された。

<報告事項>

(1) 編集委員会（国内担当）

編集委員会（国内担当）委員長より、論文誌の発行状況について報告があり、論文数を増やす必要がある旨、説明があった。

(2) 編集委員会（国際担当） 【資料 4】

編集委員会（国際担当）委員長より，論文誌の進捗状況について報告された。

また，海外からの投稿が少ない状況を受け，インデックス化に向けた調整を進めていくことが確認された。

(3) 研究委員会（国内担当） 【資料 5】

研究委員会（国内担当）副委員長より，昨年度実施した研究会の開催報告が行われた。

(4) 研究委員会（国際担当） 【資料 6-1, 6-2, 6-3】

研究委員会（国際担当）委員長より，ICoME2019の準備状況について報告された。また，2020年度の計画についても報告された。

(5) 広報委員会 【資料 8-1, 8-2】

広報委員会副委員長から，各種委員会の Web 更新の手続きについて報告があった。

(6) 日本教育メディア学会論文賞選考委員会

日本教育メディア学会論文賞選考委員会委員長より，論文賞選考の計画について報告があった。

(7) その他

・2019年4月定例理事会の交通費について

事務局から理事会での交通費の支出について報告があった。次回理事会は年次大会との同時開催のため支出なし，次々回の理事会での交通費については再度検討することが報告された。

・理事会及び各種委員会における遠隔会議システムの活用について

遠隔会議のシステムについて報告され，次々回の理事会での活用を見据えて，検討を進めることが報告された。

・会員の減少に関して

事務局から会員減少状況について報告され，理事に対して会員拡大に向けた取り組みについて依頼があった。

・関連学協会に関して 【資料 9】

会長から資料に基づき，関連学協会について報告があり，参加を前提に検討する旨報告された。

・メーリングリストに関して

事務局から各種委員会のメーリングリストを整理する旨，報告された。

・会員管理運営システムについて

事務局から会員管理システムの選定状況について報告され，継続して検討を進めることが報告された。

・花輪について

水越敏行先生逝去に伴う花輪について，日本教育メディア学会として花輪を送る予定であることが報告された。

- ・次回理事会開催について

11月1日（金）午後、徳島文理大学にて開催が予定されていることが報告された。

以上

---

## 学会費納入のお願い，入会者・退会者

---

### ◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2019年度（2019年4月1日から2020年3月31日）の年会費（正会員7,000円，学生会員4,000円）が未納の方は，下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店（ヨシイチハチ店） 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガクカイ）
--

- ※ 振込手数料は，ご負担ください。ゆうちょ銀行口座からATMを使って納入いただく場合，手数料は無料です。
- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は，振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にしてください。それが出来ない場合は振込後，事務局にメールでご連絡ください。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には，学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は，学生・大学院生（社会人学生を除く）です。会費納入に併せて学生証などの証明書類を事務局宛に提出してください（スキャナ，デジタルカメラ等で取り込んだデータのメール添付でも受け付けます）。

### ◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では，「学会通信」および重要なお知らせを電子メールで会員に配信しております。また，学会論文誌「教育メディア研究」を郵送しております。これらを確実にお届けするために，学会からのメール・学会論文誌が届いていない方は，事務局までメールアドレス，お届け先住所の情報をお送りくださるよう，よろしくお願いたします。

### 【入会者・退会者】※敬称略

新入会員・正会員（4名）・・・小川哲哉，帖佐和加子，小池翔太，葉口英子

退会者・正会員（6名）・・・宮川祐一，兼清慎一，中原淳，松下毅彦，河合正典，  
神崎友子

退会者・学生会員（1名）・・・中村康則

## 【除籍者】

正会員（9名）・・・小林道夫，山本幸子，今度珠美，楠本誠，早岡英介，永嶋知紘，岡田江奈実，影戸悠一，川島佳奈

学生会員（5名）・・・福田彩，石山大揮，李哲，中島悠，八日市律子

会費滞納に関する取り扱いを定めております会則第9条の改正が承認されました。改正された規定では、会費滞納の会員に対する扱いについて以下のように定めております。

会費の納入状況についてご不明な点がありましたら、事務局（[office@jaems.jp](mailto:office@jaems.jp)）までご連絡ください。

-----  
**第9条**

会員の会費の滞納による除籍については、以下のように定める。

（1）正会員，学生会員，団体会員ならびに購読会員が，会費を3年間滞納したとき，その年度末をもって除籍され，会員の資格を喪失する。

（2）除籍された元会員が再入会するとき，滞納会費の納入を要する。

-----

会員総数 338名・16団体

名誉会員：4名

正会員：303名

学生会員：31名

団体会員：6団体

購読会員：10団体

（令和元（平成31）年5月7日 現在）

<b>日本教育メディア学会 事務局</b>	<b>広報委員会</b>
〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1 兵庫教育大学 永田智子 研究室内 E-mail： <a href="mailto:office@jaems.jp">office@jaems.jp</a> 学会ホームページ URL： <a href="http://jaems.jp/">http://jaems.jp/</a>	委員長 渡辺雄貴（東京理科大学） 副委員長 岩崎千晶（関西大学） 委員 井ノ上憲司（大阪大学） 遠海友紀（東北学院大学） 竹中喜一（愛媛大学） 多田泰紘（関西大学）